

エが 公民館報

第315号

御意見・御希望・お問い合わせは四賀公民館まで… TEL 64-3112

四賀の世帯数・人口

世帯数 1,944 世帯
 人口 4,589 人
 男 2,228 人
 女 2,361 人

(平成30年3月1日現在)

第13回
 春というより初夏？コートも熱戦！
四賀地区ソフトバレーボール大会

—昨年のようにぐんぐん気温が上がった3月4日、3月1日の積雪も融けていく中、四賀体育館と四賀小学校体育館でソフトバレーボールの熱戦が繰り広げられました。

—一般の部26チームの頂点は初優勝の「いたばB」。40歳以上の部は「雅」が優勝です。



第13回 四賀地区
 ソフトバレーボール大会結果

	一般の部	40歳以上の部
優勝	いたばB	雅(刈谷原町)
準優勝	反町A	両瀬A
第3位	殿野入A	保福寺町A
	召田A	いたばC

二月二十日、四賀小学校三年生が昔の道具についての学習を行い、旧会田中学校の校舎に保存されている農具を中心とした今ではほとんど見かけない古い機械器具を見学しました。

鉄が木の板の先端だけの鍬や千歯扱きなど子どもたちは見たことのない機械に興味を示していました。

今では、電気を使ったモーターやエンジンによって自動化されていますが、昔のままの技術が生かされているものも多くあることを聞き驚いていました。

また、嫁入りの際に使ったとされる籠に乗る体験もしました。

昔の道具に感動!!



四賀小3年生が民具学習

2018 福寿草まつり開催



2018福寿草まつりは3月10日に開幕し、3月21日まで開催されました。

雪が舞い寒い天気となりましたが十分に講習を受け冬の体力増強を行いました。

スキースノーボード教室開催 目指せ!オリンピック



一月二十七日、スキー・スノーボード教室を大町市の爺が岳スキー場で行いました。例年、人気の教室となり親子を中心に四十名余の参加となりました。

第16回 おおまど 草部 寿楽 福倶 **大樂い 開催**



第十六回の大樂いが二月十八日に開催されました。福寿草倶楽部の活動発表の舞台です。会場のふれあい研修センターのステージでは、大正琴・踊り・ハンドベル・民話劇・拍手を受けていました。

舞台以外での活動報告として「絵手紙を楽しむ会」の草間信夫さんからの発表がありました。最後に「ふるさと」を全員で合唱し、今年の大樂いは閉会しました。次回は皆さんも仲間になりませんか。

二月十一日、ピナスホールで四賀音楽村コンサートとして、内川絵理奈さんのピアノと、松本交響楽団の弦楽アンサンブルのコンサートが開かれました。寒い空模様でしたが、大勢の皆さんが訪れてコンサートを楽しみました。



松本市四賀音楽村コンサート

松本交響楽団の弦楽アンサンブルは七人の編成によるもので、「モーツァルト」「ドビュッセルティメント」など大変に美しい音色で弦楽器の響きを堪能させてくださいました。軽やかな演奏にたくさん拍手がわき、アンコールにも応えていただきました。次回が大いに楽しみます。

内川さんのピアノは美空ひばりさんの「愛燦々」から始まり「君といつまでも」「栄光の架け橋」シヨパン「ノクターン二番」アナと雪の女王「Let it Go」ホルスト作曲「Jupiter」(平原綾香)そしてシヨパン「ワルツ六番」嵐「ふるさと」が演奏されました。新しいピアノの音色には、内川さんも感銘されたとのことでした。もちろん聴く皆さんも感激した事でしょう。



♡ 元気に楽しく みんなで遊ぼう ♡



四賀地区子ども会育成会主催の「みんなで遊ぼう」の集いが、二月二十五日に開催され、小学生と保護者らおよそ二十人が参加しました。寒さの残る広い体育館には元気な子どもたちの歓声が響き、大縄跳びやバドミントン、輪投げなど気軽にできるスポーツやゲームを元気いっぱい楽しみました。

図書館談義

1月14日、四賀公民館図書室で第2回図書館談義が行われ、図書視聴覚委員長の関口様邸さんが、県内外の石碑調査を行い拓本を取ったときの苦労話などを話しました。また、参加者と一緒に瓦を使って拓本を取る実演も行われました。



湧き水

▼先日、消防団第二十七分団(会田)の詰所が四賀支所の北西の隣接地に移転され、完成式が行われました。以前は四賀会館に隣接していましたが、四賀会館も撤去され、詰所も取り壊されていきました。

▼近年、四賀村時代からの施設の建物が相次いで撤去されています。今年度は、会田小学校、赤松館などもなくなってしまうました。

▼何十年も私たちの身近にあったものがなくなることは寂しいものですが、人口の減少や生活様式の変化により使われなくなる施設があることはやむを得ないことかもしれません。

▼来年度には、中川と五常の消防団の詰所も一新される予定です。今ある施設、これから建設される新しい施設も今までのように大切に使用して、長く未来に残していきたいと思えます。

